

平成31年度より新潟市の 胃内視鏡検診は 2年に1回に

胃内視鏡検診は40歳、
45歳、50歳、52歳、54歳、56歳、
58歳、60歳、62歳……
年度末年齢偶数の人が
対象です

これまで、胃内視鏡検診の対象年齢の人は、年1回受診できましたが、国の定める「がん検診実施のための指針」の改正に伴い、本市でも、**対象年齢のうち50歳以上の人は、平成31年度より2年に1回**とします。

50歳以上の人は、年度末に偶数年齢の人が対象で、奇数年齢の人は受診できません。

ただし、平成31年度に限り、平成30年度に胃内視鏡検診を受けていなければ、奇数年齢の人でも受診可能です。

※40歳、45歳の人は、今までどおり胃内視鏡検診を受診できます

※50歳以上の人も、胃部エックス線検査(バリウム)は、年1回受けることができます



国が定める「がん検診実施のための指針」

胃がん検診の対象は50歳以上で、胃部エックス線検査(バリウム)または胃内視鏡検査のいずれかを、原則として2年に1回行う。ただし、当分の間、胃部エックス線検査は1年に1回行っても差し支えない。

国の指針のエビデンス(科学的根拠)は?

国が、新潟市などの胃内視鏡検診のデータに基づく研究において、胃がんが発見された人の検診受診歴を分析し、下記の研究結果が得られました。

研究結果

・1年前 } に受けた人は { ・進行がんの割合 } に差がない。
・2年前 } { ・5年生存率 }

・3年前に受けた人と一度も受けたことがない人は、5年生存率は低くなる。

・3年前に受けた人は、進行がんの割合が高い。

(Hamashima C, BMC Cancer, 2018)

～本市の胃内視鏡検診で胃がんが発見された人の5年生存率は90%以上です。

あなたの健康を守るためにがん検診を定期的に受けましょう～

【お問い合わせ先】

新潟市保健所健康増進課 電話 025-212-8162

新潟市医師会

電話 025-240-4131